

クスノキ通信

全日本建設交運一般労働組合広島県本部
〒730-0853
広島市中区塙町一丁目一十九-三〇三
TEL (082) 235-1050
FAX (082) 235-1051
e-mail ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

県内各地で九回メーデー開催される

中央メーデー集会には約5百人が参加

「働くものの团结で、くらしと平和、民主主義を守ろう」をスローガンに働く者の祭典「第九回広島県中央メーデー」が、五月一日、広島市中区の「ハノーバー庭園」で開催され、約五百人が参加しました。建交労は、広島支部、広島ダンプ支部、広島労職支部、鉄道支部、広島県本部から一〇人が参加しました。

戦争反対！をアピール

ラカードコンテストで

ダンプ支部が入賞

メーデー集会では毎年「デコレーション・プラカードコンテストが行われますが、今年は広島ダンプ支部が



メーデー集会の議長を務める武田喜成書記次長（5月1日ハノーバー庭園）

武田書記次長が初のメー

今年のメーデー集会の議長役として県本部の武田書記次長が務めました。もう一人は全教広島の女性でした。スマートな進行に大奮闘しました。

デー議長役で奮闘

今年のメーデー集会の議長役として県本部の武田書記次長が務めました。もう一人は全教広島の女性でした。スマートな進行に大奮闘しました。

久しぶりに出品。審査の結果、見事3位入賞を果たしました。
ダンプカーを形どった段ボールの両面に「過積載根絶、まともな単価単価改善」と「戦争反対、核兵器なくせ」を書いて、集会前には平和公園から会場までデモ行進しました。これを作成したのは呉市に住むダンプ支部の組合員です。

要請しました

建交労中国地協は、去る五一〇日(火)に岩国市で開催された中国市長会の春の役員会総会に要請をおこないました。

組合からは山室まこと地協議長と山田昭夫事務局長とで参加しました。

当日は午前一一時より、中国市長会長の岩国市福田良彦市長に会い、約一二〇三分間要請・懇談をおこないました。当初は二〇分間くらいの予定でしたが、事前の申し出なく組合の説明報告中に福田会長より「打ち合わせがあるので、早めに終わつてもらいたい」との発言があり、やむを得ず、上記の通り短時間の要請で終ることとなりました。組合の要請事項について



岩国市の福田良彦市長（右側）
に要請書を手渡す山室まこと議長（5月10日岩国市にて）

◆5月3日の憲法記念日を前後して、憲法に関する「世論調査」が行われている。「改憲をした方が良いか、しない方が良いか」で問うと「改憲した方が良い」が多くなるが、よく考えてみると、「憲法のどこを変えるのか」を問うているわけではないのに「変える方が良い」に○をする傾向にあるようだ。今年は憲法施行七五年、「長い間変わっていないので変えてもいいのでは」くらいに思っている人もいるようだ◆「朝日」の世論調査では憲法9条の条文を示したうえで問う方式でおこなったところ「変えないほうがよい」が59%で「変えるほうがよい」は33%で9条支持派がかなりの多数である◆「共同通信」の調査では、岸田首相が任期中に改憲をめざしていることについて「改憲の機運は高まっているか」と問うと、「どちらかと言えば高まっていない」が48%、「高まっていない」が22%で、合計70%に達している◆他方自民党の「改憲4項目」のうち、9条1、2項を残して自衛隊を明記する案については「朝日」55%、「共同」で賛成7%となっている。ロシアのウクライナ侵略を毎日の映像で見るにつけて、感情的にも、そのように思う人が増えることも理解できるが、安保法制のものでの自衛隊はアメリカと共に集団的衛権の行使ができる軍隊である。戦争は始まるとき、すぐには終わらない。冷静な議論こそ求められている。(M)



参議院国土交通委員会で参考人として意見を述べる全国ダンプの高橋部会長(5月17日)

各県で条例の制定(改正)に

「適正な利潤の確保」など・政府が入契法の一部改正を決定

盛り土規制法が成立したことに関連して政府は、二〇日に、建設資材の高騰などを受けて「入契法」の一部改正を決定しました。(下記)

建交労全国ダンプ部会長が参考人で主張 盛り土規制法が国会で成立(5月20日)

盛り土災害の再発防止、単価の改善につなげることが課題

残土規正法の成立により、今後は各県でも条例の制定(すでにある県では改正など)などが行われます。

高橋部会長は「建設工事の発注者や、土砂を発生させる元請け業者が最後まで土の管理に責任を持つ制度を設けるべきだ」と述べるとともに「最終処分まで追わない」と意味がない。土の行方は巧妙に闇の中になる。今後も熱海のような災害が生じると憂慮している。行政や立法の不作為によるこれ以上の犠牲者が出ないよう「それでももらいたい」と訴えました。

ダンプ労働者にも大いに関係のある問題であり、建交労全国ダンプ部会長は、住民の命と財産を守るために重要な法案であり、高橋立頸部会長が参議院の国土交通委員会で「参考人・3人」の一人として招致され意見を述べました。建交労が参考人招致されたのは「一年ぶりです。

高橋部会長は「建設工事の発注者や、土砂を発生させる元請け業者が最後まで土の管理に責任を持つ制度を設けるべきだ」と述べるとともに「最終処分まで追わない」と意味がない。土の行方は巧妙に闇の中になる。今後も熱海のような災害が生じると憂慮している。行政や立法の不作為によるこれ以上の犠牲者が出ないよう「それでももらいたい」と訴えました。

二七人の犠牲者を出した静岡県熱海市の土石流災害を受け、再発防止めざす「盛り土規制法」が五月二十日に成立しました。

ダンプ労働者にも大いに関係のある問題であり、建交労全国ダンプ部会長は、住民の命と財産を守るために重要な法案であり、高橋立頸部会長が参議院の国土交通委員会で「参考人・3人」の一人として招致され意見を述べました。建交労が参考人招致されたのは「一年ぶりです。

- ◆ 「入契法」の一部改正のポイント
 - 1. 建設残土(発生土)関係
 - ・建設発生土等の運搬・処分等に要する費用を明記
 - ・建設発生土の搬出に関する情報を明記
 - 2. 適切な契約変更
 - ▼契約変更の必要が生じうる事情の例示に資材等の価格著しい変動、納期遅れ等を明記
 - 3. その他
 - ▽ダンピング対策の理由として、公共工事を実施するものの適正な利潤の確保について追記
 - ▽ダンピング対策を徹底するため、低入札価格調査基準等を適正な水準で設定することについて追記
 - ▽技術労働者の育成・確保に資する労働環境を整備するため、国・発注者によるCCUS(建設キャリアアップシステム)活用促進の取り組みについて追記

戦争ヤセナ! 9条壊すな!

9条への信頼こそ最大の安全保障です

「戦争させない・9条壊すな! ヒロシマ総がかり行動実行委員会」の主催で5月3日定例の「憲法集会」が広島弁護士会館で開かれ、会場いっぱいに約二六〇人が参加しました。

主催者あいさつで、山田延廣弁護士は「ロシアのウクライナ侵略と危機に乗じて、自民党や維新の会などが改憲を煽り、核兵器の共有まで表明するなどの動きを厳しく批判。夏の参議院選挙は、「9条改悪しようとする勢力とどう立ち向かうかなどをしつかり学ぼう」と呼びかけました。

講演で新潟国際大学の佐々木寛教授は、ウクライナ侵略戦争の危機にふれる中で「改憲しようとする側の最終目標は戦前回帰にある」と指摘、憲法9条についても「信頼こそ最大の安全保障です」と強調しました。

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題を取り組みなど、身近な話題を、ファックスやメールでお寄せください。メールとファックスは以下の通りです。

f a x ○八一―三一五一〇五一
cig303.hiroshima@orange.plala.or.jp

今後の組合日程など

五・三〇 建交労第四回中央執行委員会(～三一日)

六・六 三原支部月例集会(～五日・広島市)

六・四 いの健中・四国ブロックセミナー(～五日・広島市)

六・一〇 第八回建交労フェスタ in 京都(～一二日・京都市にて)

六・一一 参議院選挙公示日(～二二日・広島市)

六・一二 参議院選挙投票開票日(～二二日・広島市)

六・二五 広島県労連評議員会(～二二日・広島市)

六・一〇 参議院選挙投票開票日(～二二日・広島市)

七・一四 建交労第五回中央執行委員会(～一五日)

七・一八 海の日(～二九日)

八・二七 建交労二四回定期大会(～二九日)

憲法と平和を守る広島共同センターは「改憲でなく9条生かした平和外交を」のリーフ

を10万枚作成し、全国署名を大いに前進させようと呼びかけています。(写真)



日本国憲法 第9条
日本国は、平和を基盤とする国際の友好と合作を実現し、國體の尊厳と國の独立、主権の完整性を保持するものとして、國の存続と繁栄を保証する。
前項の目的を達するため、陸海空軍その他の武力を置かない。
これを尊重しない國の交渉者は、これを認めない。

憲法と平和を守る広島共同センター
〒730-0046 広島市中区基町1丁目1番地 TEL: 082-245-2101
E-mail: hiroto21@web-deco.com

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題を取り組みなど、身近な話題を、ファックスやメールでお寄せください。メールとファックスは以下の通りです。